



栗田工業株式会社

2023年3月期 第1四半期  
**決算説明会**

---

(証券コード：6370)

2022年8月1日

- 1** | 2023年3月期 第1四半期実績 ..... p 1 - 9
- 2** | 2023年3月期 業績見通しの修正 ..... P10-14

# 1 | 2023年3月期 第1四半期実績

---

# 決算概要



(単位：億円)		2021/6期	2022/6期	前年同期比		
				上期今回見通し	前年同期比	
受	注 高	776	1,001	+ 29.0%	1,780	+ 20.4%
売	上 高	632	747	+ 18.1%	1,605	+ 18.7%
事	業 利 益	59	63	+ 7.6%	173	+ 16.2%
そ	の 他 の 収 支	△ 1	+1	—	△ 7	—
営	業 利 益	58	64	+ 9.7%	166	+ 12.6%
税	引 前 四 半 期 利 益	56	73	+ 30.1%	166	+ 48.7%
親	会 社 の 所 有 者 に 帰 属 す る 四 半 期 利 益	37	49	+ 30.1%	112	+ 96.3%
1	株 当 たり 四 半 期 利 益 (円)	33.29	43.29	+ 30.1%	99.66	+ 96.3%
為 替 レ ー ト	USD (円)	109.5	129.6			
	EUR (円)	132.0	138.1			
	CNY (円)	17.0	19.6			

- ペンタゴン・テクノロジーズ社の株式追加取得および完全子会社化は、予定どおり6月末に実施。これに伴い実施した為替予約により、デリバティブ取引差益11億円を金融収益として計上。

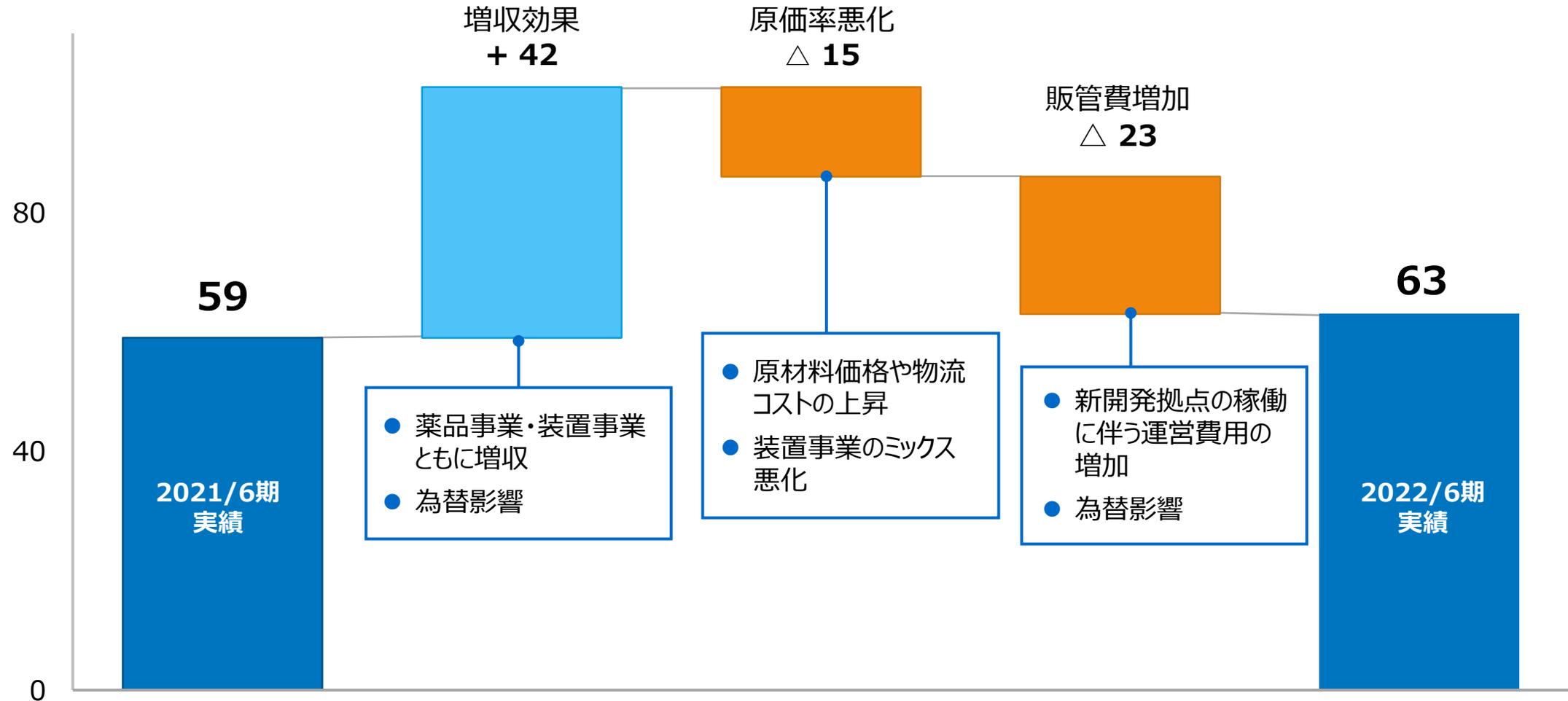
# セグメント別の実績

(単位：億円)		2021/6期	2022/6期	前年同期比	上期 今回見直し
全社	受注高	776	1,001	+ 225	1,780
	売上高	632	747	+ 115	1,605
	事業利益	59	63	+ 4	173
	事業利益率	9.3%	8.5%	△ 0.8pp	10.8%
	営業利益	58	64	+ 6	166
水処理薬品 事業	受注高	292	337	+ 45	682
	売上高	279	325	+ 46	675
	事業利益	32	34	+ 2	81
	事業利益率	11.6%	10.6%	△ 1.0pp	12.0%
	営業利益	32	36	+ 4	78
水処理装置 事業	受注高	484	664	+ 180	1,098
	売上高	353	422	+ 69	930
	事業利益	27	29	+ 2	92
	事業利益率	7.5%	6.9%	△ 0.7pp	9.9%
	営業利益	26	27	+ 1	88

- 水処理薬品事業は、主に海外で増収となるも、原材料価格や物流費のコスト負担増により事業利益は微増にとどまる。
- 水処理装置事業の受注高は、国内外の装置およびメンテナンスの受注増により増加。
- 水処理装置事業の売上高は、主に国内外の装置や超純水供給事業で増加。
- 水処理装置事業の事業利益は、増収効果が販管費の増加や原価率の悪化の影響をカバーし増益。

# 事業利益の増減要因（前年同期比）

(単位：億円)



(単位：億円)	2021/6期	2022/6期	前年同期比	上期 今回見通し
<b>受注高</b>	<b>292</b>	<b>337</b>	<b>+ 45</b>	<b>682</b>
国内	116	115	△ 1	230
海外	177	222	+ 45	452
<b>売上高</b>	<b>279</b>	<b>325</b>	<b>+ 46</b>	<b>675</b>
国内	102	104	+ 2	224
海外	177	221	+ 44	451
<b>事業利益</b>	<b>32</b>	<b>34</b>	<b>+ 2</b>	<b>81</b>
<b>事業利益率</b>	<b>11.6%</b>	<b>10.6%</b>	△ 1.0pp	<b>12.0%</b>
<b>営業利益</b>	<b>32</b>	<b>36</b>	<b>+ 4</b>	<b>78</b>

- 国内は、一部業種におけるコロナ影響や半導体不足の影響の継続により、前年同期比でほぼ横ばい。
- 海外は、販売価格の見直しや新規案件の獲得、円安の進行による為替換算額増加により増収。
- 事業利益は、増収効果が原材料価格や物流コストの上昇による原価率悪化の影響を上回り増益。

## 海外地域別売上高

(単位：億円)	2021/6期	2022/6期	前年同期比	上期 今回見通し
アジア	63	75	+ 12	152
北南米	55	76	+ 21	162
EMEA	59	69	+ 10	138
<b>合計</b>	<b>177</b>	<b>221</b>	<b>+ 44</b>	<b>451</b>

### 増減要因（億円）

オーガニック増減	+22
為替影響	+23

# 水処理装置事業（国内電子産業向け）



（単位：億円）	2021/6期	2022/6期	前年同期比	上期 今回見直し
<b>受注高</b>	<b>154</b>	<b>200</b>	<b>+ 47</b>	<b>362</b>
装置	9	24	+ 15	54
メンテナンス	49	64	+ 16	85
超純水供給事業	73	89	+ 16	173
精密洗浄	24	23	△ 0	51
<b>売上高</b>	<b>142</b>	<b>167</b>	<b>+ 25</b>	<b>341</b>
装置	10	15	+ 5	33
メンテナンス	35	40	+ 4	84
超純水供給事業	73	89	+ 16	173
精密洗浄	24	23	△ 1	51

- 装置の受注高は大型案件の受注により増加、売上高も大型案件の工事進捗により増加。
- メンテナンスの受注高・売上高は、顧客工場の堅調な稼働を背景に増設や消耗品交換案件が増加。
- 超純水供給事業は、水供給案件の増加により受注高・売上高ともに増加。
- 精密洗浄は、一部顧客工場で稼働停止期間があった影響を受け、前年同期並み。

# 水処理装置事業（国内一般産業向け）

（単位：億円）	2021/6期	2022/6期	前年同期比	上期 今回見直し
<b>受注高</b>	<b>171</b>	<b>190</b>	<b>+ 19</b>	<b>288</b>
エネルギー・インフラ	155	175	+ 20	252
土壌浄化	9	10	+ 2	23
その他	8	5	△ 3	12
<b>売上高</b>	<b>108</b>	<b>98</b>	<b>△ 10</b>	<b>236</b>
エネルギー・インフラ	92	82	△ 10	197
土壌浄化	8	10	+ 2	26
その他	7	5	△ 2	12

- エネルギー・インフラの受注高は、一般産業向けメンテナンスの需要回復や一般産業向け装置で大型案件の計上により増加。
- エネルギー・インフラの売上高は、電力向け装置の売上計上の一巡や、エンジニアリング洗浄において前年同期に大型案件があったことにより減少。
- 土壌浄化の受注高は中小型案件の獲得により増加し、売上高は受注済案件の進捗により増加。

# 水処理装置事業（海外）

(単位：億円)	2021/6期	2022/6期	前年同期比	上期 今回見通し
<b>受注高</b>	<b>159</b>	<b>274</b>	<b>+ 115</b>	<b>448</b>
装置	70	140	+ 69	219
メンテナンス	46	79	+ 33	116
超純水供給事業	8	9	+ 1	17
精密洗浄	34	46	+ 12	97
<b>売上高</b>	<b>104</b>	<b>157</b>	<b>+ 54</b>	<b>353</b>
装置	34	70	+ 37	154
メンテナンス	27	32	+ 5	87
超純水供給事業	8	9	+ 1	17
精密洗浄	34	46	+ 12	97

- 中国では、受注高は大型案件の受注により増加。売上高は、新型コロナウイルス感染拡大による都市封鎖の影響により工事が遅れ減少。
- 韓国では、受注高は大型案件の受注により増加。売上高は受注済み案件の売上計上により増加。
- 台湾では、受注高は増加も売上高は横ばい。
- 北米では、精密洗浄事業の増加が寄与。

## 海外地域別売上高

(単位：億円)	2021/6期	2022/6期	前年同期比	上期 今回見通し
アジア	54	89	+ 36	205
北南米他	50	68	+ 18	148
<b>合計</b>	<b>104</b>	<b>157</b>	<b>+ 54</b>	<b>353</b>

### 増減要因（億円）

オーガニック増減	+ 36
為替影響	+ 17

# サービス事業売上高内訳

(単位：億円)	2021/6期	2022/6期	前年同期比	上期 今回見通し
水処理薬品事業	279	325	+ 46	675
水処理装置事業	293	328	+ 35	721
超純水供給事業	81	97	+ 17	189
国内精密洗浄	24	23	△ 1	51
海外精密洗浄	34	46	+ 12	97
土壌浄化	8	10	+ 2	26
国内メンテナンス	113	114	+ 0	259
海外メンテナンス	27	32	+ 5	87
その他	6	5	△ 1	12
<b>合計</b>	<b>572</b>	<b>653</b>	<b>+ 80</b>	<b>1,396</b>

- 海外の水処理薬品、精密洗浄、超純水供給事業の増加により、サービス事業は増収。

# 設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)	2021/6期	2022/6期	前年同期比	2023/3期 (見通し)
<b>設備投資額（有形*）</b>	<b>131</b>	<b>109</b>	△ 22	<b>537</b>
水処理薬品事業	29	15	△ 14	—
水処理装置事業	101	94	△ 7	—
<b>減価償却費（有形*）</b>	<b>48</b>	<b>59</b>	+ 11	<b>235</b>
水処理薬品事業	12	11	△ 1	44
水処理装置事業	36	48	+ 11	191
<b>研究開発費</b>	<b>12</b>	<b>15</b>	+ 2	<b>58</b>
水処理薬品事業	4	4	+ 0	17
水処理装置事業	8	10	+ 2	42

\* 使用権資産含む。

- 設備投資は、超純水供給事業向けが増加するも、新開発拠点関連の投資があった前年同期と比べると減少。
- 減価償却費は、超純水供給事業における新規の水供給の開始、新開発拠点の稼働開始などにより増加。
- 設備投資額、減価償却費、研究開発費ともに、計画に沿った進捗。

## 2 | 2023年3月期 業績見通しの修正

---

- 足元の急激な円安を踏まえ、為替の前提レートを見直す。  
(通期：USD 124円→136円、EUR 133円→140円、CNY 19円→20円)
- 第1四半期での海外装置の案件の獲得状況を反映。
- 海外の薬品事業の売上高が想定を上回る伸びとなっている点を反映。
- 原材料価格や物流費の上昇が続いている状況などを踏まえ、事業利益以下は期初計画数値を据え置く。

(単位：億円)	受注高		売上高	
	上期	通期	上期	通期
為替前提レートの変更	+ 50	+ 105	+ 45	+ 105
海外装置・薬品の進捗反映	+ 90	+ 60	+ 25	+ 25
<b>合計</b>	<b>+ 140</b>	<b>+ 165</b>	<b>+ 70</b>	<b>+ 130</b>

# 業績見通し概要



(単位：億円)		上期			通期		
		2023/3期 期初計画	2023/3期 今回見通し	期初計画比	2023/3期 期初計画	2023/3期 今回見通し	期初計画比
受注高	高	1,640	1,780	+ 140	3,200	3,365	+ 165
売上高	高	1,535	1,605	+ 70	3,250	3,380	+ 130
事業利益		173	173	—	380	380	—
その他の収支		△ 7	△ 7	—	△ 15	△ 15	—
営業利益		166	166	—	365	365	—
税引前当期利益		166	166	—	365	365	—
親会社の所有者に帰属する 当期（四半期）利益		112	112	—	257	257	—
1株当たり当期（四半期）利益（円）		99.66	99.66	—	228.69	228.69	—
為替レート	USD（円）	124.0	133.0		124.0	136.0	
	EUR（円）	133.0	139.0		133.0	140.0	
	CNY（円）	19.0	20.1		19.0	20.0	

- 受注高・売上高を上方修正も、事業利益以下は期初計画を据え置く。

# セグメント別の見通し

(単位：億円)		上期			通期		
		2023/3期 期初計画	2023/3期 今回見通し	期初計画比	2023/3期 期初計画	2023/3期 今回見通し	期初計画比
全社	受注高	1,640	1,780	+ 140	3,200	3,365	+ 165
	売上高	1,535	1,605	+70	3,250	3,380	+ 130
	事業利益	173	173	—	380	380	—
	事業利益率	11.3%	10.8%	△ 0.5pp	11.7%	11.2%	△ 0.4pp
	営業利益	166	166	—	365	365	—
水処理薬品 事業	受注高	644	682	+ 38	1,270	1,340	+ 70
	売上高	638	675	+ 37	1,265	1,335	+ 70
	事業利益	81	81	—	151	151	—
	事業利益率	12.7%	12.0%	△ 0.7pp	11.9%	11.3%	△ 0.6pp
	営業利益	78	78	—	147	147	—
水処理装置 事業	受注高	996	1,098	+ 102	1,930	2,025	+ 95
	売上高	897	930	+ 33	1,985	2,045	+ 60
	事業利益	92	92	—	229	229	—
	事業利益率	10.3%	9.9%	△ 0.4pp	11.5%	11.2%	△ 0.3pp
	営業利益	88	88	—	218	218	—

(単位：億円)	上期			通期		
	2023/3期 期初計画	2023/3期 今回見通し	期初計画比	2023/3期 期初計画	2023/3期 今回見通し	期初計画比
<b>受注高</b>	<b>644</b>	<b>682</b>	<b>+ 38</b>	<b>1,270</b>	<b>1,340</b>	<b>+ 70</b>
国内	230	230	—	448	448	—
海外	414	452	+ 38	822	892	+ 70
<b>売上高</b>	<b>638</b>	<b>675</b>	<b>+ 37</b>	<b>1,265</b>	<b>1,335</b>	<b>+ 70</b>
国内	224	224	—	443	443	—
海外	414	451	+ 37	822	892	+ 70

## ■ 海外地域別売上高

(単位：億円)	上期			通期		
	2023/3期 期初計画	2023/3期 今回見通し	期初計画比	2023/3期 期初計画	2023/3期 今回見通し	期初計画比
アジア	140	152	+ 12	281	303	+ 21
北南米	140	162	+ 21	275	313	+ 37
EMEA	134	138	+ 4	265	276	+ 11
<b>合計</b>	<b>414</b>	<b>451</b>	<b>+ 37</b>	<b>822</b>	<b>892</b>	<b>+ 70</b>

# 水処理装置事業（海外）



(単位：億円)	上期			通期		
	2023/3期 期初計画	2023/3期 今回見通し	期初計画比	2023/3期 期初計画	2023/3期 今回見通し	期初計画比
<b>受注高</b>	<b>346</b>	<b>448</b>	<b>+ 102</b>	<b>632</b>	<b>727</b>	<b>+ 95</b>
装置	138	219	+ 81	239	300	+ 61
メンテナンス	100	116	+ 15	169	187	+ 18
超純水供給事業	17	17	—	33	33	—
精密洗浄	91	97	+ 6	191	208	+ 17
<b>売上高</b>	<b>320</b>	<b>353</b>	<b>+ 33</b>	<b>648</b>	<b>708</b>	<b>+ 60</b>
装置	130	154	+ 24	264	292	+ 28
メンテナンス	83	87	+ 3	161	176	+ 15
超純水供給事業	17	17	—	33	33	—
精密洗浄	91	97	+ 6	191	208	+17

## 地域別売上高

(単位：億円)	上期			通期		
	2023/3期 期初計画	2023/3期 今回見通し	期初計画比	2023/3期 期初計画	2023/3期 今回見通し	期初計画比
アジア	181	205	+ 24	363	399	+ 36
北南米	139	148	+ 9	285	309	+ 24
<b>合計</b>	<b>320</b>	<b>353</b>	<b>+ 33</b>	<b>648</b>	<b>708</b>	<b>+ 60</b>



#### 将来見通しに関する注記事項

本資料に掲載されている計画数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

本資料内で使用している商標（製品、サービス、ロゴ）は、当社または当社に使用を認めた権利者に帰属します。